



世のため 後のため
「未来へつなぐ」仕事がある

～Connect to The Future～



2017
本庄市職員募集案内



◇市長からのメッセージ



本庄市に興味を持ってくださったみなさん、こんにちは！
本庄市長の吉田信解です。

私は毎年、年頭の挨拶で職員に対して、1年間心にとめて仕事をしてほしいその年の言葉を示しています。今年は「つなぐ」という言葉を掲げました。今を生きる我々がお互いにつながり、そして後世のためにつながる本庄市政に邁進していきたいという気持ちからです。

この「つなぐ」という言葉は、本庄市に興味を持っていただいたみなさんにも意識していただきたいキーワードです。組織の中で働くうえで、互いの協力や協調なくして良い仕事はできません。職場でお互いにつながり、関係機関や地域住民へ、そのつながりを広げていくことで、後世につなぐ仕事の実現できるのです。

新たな課題にも積極果敢に挑戦し、自ら考えた取組みを本庄市の後世のために実現させたい。本庄市は、そんな熱い思いを持ったみなさんを心よりお待ちしております。

本庄市長 **吉田信解**

◇本庄市の概要

本庄市は東京から80km圏、埼玉県 of 西北に位置します。地形は概ね平坦で安定した地盤を有していますが、南西部は500m級の山々が連なる山間地となっています。自然災害は少なく、気候は夏に雨量が多く、冬に少ない東日本型気候であり、水と緑豊かな自然環境に恵まれたところです。

◇本庄市のデータ (平成29年6月1日現在)

人口 78,778人
世帯数 33,702世帯
面積 89.69km²
職員数 534人

主要な交通網

鉄道

JR上越新幹線 本庄早稲田駅
JR高崎線 本庄駅
JR八高線 児玉駅

道路

関越自動車道 本庄児玉IC
国道17号、254号、462号

◇本庄市の取り組みを紹介します

◇人口減少への対応

急速に進む人口減少問題を克服していくことが課題となっており、出会いの場の提供や出産・子育て支援、市民一人ひとりがいきいきと生活し健康長寿につながる施策に取り組むことで、出生率の増加を図っています。

【子ども・子育て支援】

延長保育事業や一時預かり事業、病児保育事業、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポートセンター事業等を行う事業者に対して助成や委託を行い、支援事業者の確保及び拡大を図り、市民の方の保育需要の拡大に対応しています。

更に、民間保育園等の園舎の整備等にかかる工事費支援や人件費補助の実施、放課後児童健全育成支援を充実させるため新たな学童保育所への委託等を行っています。



【健康づくりの推進】



市民の健康づくり事業を展開していく保健センターに、休日・夜間診療所及び健診・検査エリアを新設した、新しい保健センターが平成29年6月26日にオープンしました。

また、平成27年度から実施している「健康づくりチャレンジポイント事業」（はにぼんチャレンジ）では、対象事業の拡充や自宅で行う健康づくり活動にもポイントを付与して参加しやすくするなど、毎年度内容を見直し、市民の健康に対する意識改革に努め健康長寿の実現を目指しています。

◇地域経済の活性化

農業、商工業などの産業の振興、世界文化遺産をはじめとした観光の振興、企業誘致とともに就業の選択や所得の拡大などに取り組み、定住・交流人口の増進を図ることで、本庄市の新たな魅力の向上に努めています。

【企業誘致・勤労者対策】

工場の新・増設や設備投資による新規立地、施設拡充に企業誘致条例に基づく奨励金制度を設け、地域産業の更なる振興に努めています。企業立地を促進し、新たな雇用の創出や就業の機会、選択の拡大など、環境の充実を図っています。



【観光への取組】

本庄市の偉人「塙保己一」に関する資料を展示する「塙保己一記念館」や世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」との関係が深い「競進社模範蚕室」と「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫」を最大限に活用し、市の知名度アップや交流人口の増加を目指しています。

また、絹産業関連施設を擁する地域を「上武絹の道」として、ブランド化を図り、地域の観光戦略を一体的に運営する組織を立ち上げることにより、自治体の圏域を越えた連携を強化し、当該地域の観光等による地方創生を推進しています。

その他にも、「ゆるきゃら®グランプリ2016」にて、マスコットキャラクター「はにぼん」が第2位となり、市の内外において積極的に本庄市をPRしています。

◇地域の特性を活かしたまちづくり

駅周辺拠点における、居住や交流環境等の魅力を一層高めることにより、定住の促進、店舗等の開業・起業、地域のつながりの強化、市民参加型の地域活動を推進し、コンパクトで賑わいのある安全・安心なまちなかを目指しています。

【まちづくり】

本庄市では、人口減少・高齢化に対応した「集約型都市構造」の構築による「持続可能な都市」を目指し、本庄駅、児玉駅、本庄早稲田駅の3つの駅周辺の都市機能の充実を目指した「まちづくり」を進めています。

本庄駅、児玉駅周辺では「まちなか再生」を、本庄早稲田駅周辺では「新しい魅力と活力あるまちの創造」を目指すとともに、多様なライフスタイルが選択できる「まちづくり」を推進していきます。

本庄早稲田駅周辺の街並み



児玉駅周辺の街並み



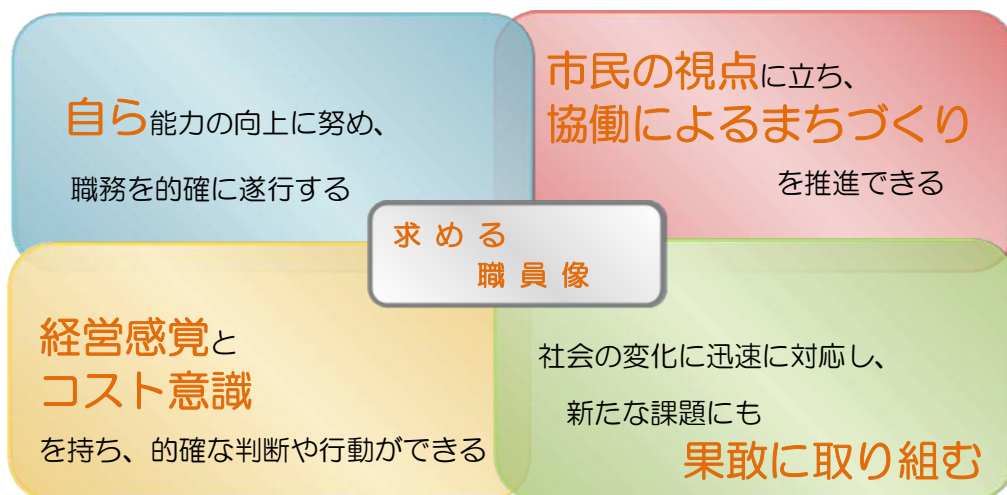
【危機管理意識の向上】

近年繰り返される自然災害に対しては、「備え」が必要です。災害時に迅速な対応が取れるように、防災訓練の実施や防災行政無線の維持管理を行っています。

防犯の面では、市内全域の防犯灯のLED化を進め、夜間における犯罪の防止を図るとともに、省エネも推進しています。



◇本庄市の求める職員像



地方自治体は自らの判断と責任により、地域の実情に沿った行政を展開していくことが求められています。厳しい財政状況や人口減少時代において、本庄市では、魅力あるまちづくりに取り組むため、既成概念にとらわれずに、自ら考え・行動し、市民全体のため・世のために真に必要な仕事を見極め、市民と共に課題に取り組む職員を求めています。また、仕事に対して地道にコツコツと取り組みながらもスピード感を忘れることなく、物事のチャンスを見定めて確実に掴めるよう、常に先見性を持ち、使いこなす感覚を求めています。

理想や夢を掲げ、どんな困難・課題にも負けずに立ち向い、明日の本庄市をつくりたい！そんなやる気のある皆さんの応募をお待ちしています。

◇先輩職員からのメッセージ

日々の生活に豊かさをもたらす 本と人をつなぐ仕事

Q 私の所属はこんなところ

A 図書館では、本の貸出や返却、本に関する相談を受ける窓口業務をはじめ、利用者の調べものの手助けや資料の収集・整理・保存を行っています。その他にも、多くの方に図書館を利用してもらうために、イベントの企画や運営、広報活動など幅広い業務を行っています。

私は児童サービスを担当しており、子どもたちに本に親しんでもらうため、さまざまな取組みに従事しています。具体的には、ボランティアの方々と行うおはなし会や工作教室などの催し物、学校への本の貸出、ブックスタート事業の運営に携わっています。

Q 印象に残っていること

A 図書館は子どもから大人まで多くの方が来館するため、たくさんの人との出会いがあります。探している本を手渡して「ありがとう」と言ってもらえたときやおはなし会に楽しそうに参加している子どもの姿を見たとき、紹介した本を借りてもらえたときなど、本と人を結ぶことができると、とても嬉しく思います。図書館にまた行きたいと思ってもらい、日々の生活を少しでも豊かにできるよう、地域の方の力になりたいと感じています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は多岐にわたりますが、さまざまな形で地域に関わっています。所属する課によって内容は異なりますが、地域の方一人ひとりに丁寧に向き合い対応することが大切です。広く深い知識と柔軟な思考を持つことも求められるため、自分自身も成長することができます。「本庄市に住んで良かった」と思えるようなまちづくりを一緒にしませんか？



◆ 江連 里香 主事

教育委員会
図書館
奉仕係

平成26年度採用
一般事務

経歴
H26.4 現所属

未来の子どもたちへ 安全で快適な生活環境をつなぐ

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属している下水道課では、市民の方が安全で快適な生活を送れるよう、公共下水道や農業集落排水施設を整備しています。これらは、公衆衛生の向上と河川等の水質改善、安全で快適な生活環境を維持するためにとっても重要な施設ですが、その施設を整備するためには、多額の費用と期間がかかります。このため、市民の方の理解と協力をいただきながら、未来の子どもたちへ安全で快適な生活環境をつないでいくために、日々業務に取り組んでいます。

Q 印象に残っていること

A 下水道の施設は、その多くが地中にあるため、普段の生活で目にすることはほとんどありません。道路や橋を作るのとは違って、地味な仕事に思われるかもしれませんが、市民の方の生活を支えている縁の下の力持ちのような存在ではないかと思います。

ある時、市民の方から「下水道に接続して生活が快適になった」と、感謝の言葉を掛けていただいたことが、今でも印象に残っています。日々の仕事の中で、丁寧な対応や説明を常に心掛けることが、結果として市民の方の満足につながっていると実感しています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は、市民生活に密着しているため、多岐にわたりやりがいのある仕事です。仕事をしていて感じるのは、市民の方が抱く市役所のイメージは、最初に対応する職員によって決まるということです。仕事への熱い思いがあるのと同時に、市民の方の気持ちに寄り添い、丁寧な対応ができる職員が本庄市には求められています。

ぜひ、本庄市役所を選択してください。市民の方のために、私たちと一緒に力を合わせて本庄市と共に大きく成長しませんか？

◆ 四方田 住樹 主任

上下水道部
下水道課
業務係

平成18年度採用
一般事務

経歴

H18.4 介護いきがい課
H22.4 福祉課
H23.4 障害福祉課
H27.4 現所属

窓口で築く信頼関係

市役所でしかできない、市民のためにつながる仕事

Q 私の所属はこんなところ

A 市民福祉課は、本庄市の児玉地域の窓口として、幅広い業務を行っています。私が所属している市民税務係は、各種証明書の発行、戸籍の届出、年金の受付、税金の徴収が主な仕事ですので、まずは来庁した市民の方に、用件を丁寧に聞き取りをしたうえで、どのような手続きが必要なのかを判断し、正確な案内と説明ができるよう心がけています。市民の方との信頼関係を築けるよう、親しまれる窓口サービスを目指し、日々業務に取り組んでいます。

Q 印象に残っていること

A 私は入庁後、子育て支援課に4年間所属し、市民福祉課は今年度で2年目になります。どちらの課も窓口業務がメインのため、直接、市民の方から相談や意見を伺う機会が多く、市民の方の要望を叶えたいと思う一方、法律や制度等による行政の限界との間で悩むこともありました。そんな日々の中、当時の上司から「できない理由を考えるのではなく、できるようにするためにはどうしたらいいかを考えなさい」というアドバイスをいただき、いまでも印象に残っています。私の市の職員としての在り方を見つめ直す言葉になり、より一層業務に励もうと思うきっかけになりました。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は多岐にわたり、その内容は部署によって全く異なります。異動ごとに一から学ばなければならないことも多いですが、その中でさまざまな経験や新しい発見が得られます。何より、市役所でしかできない、市民の方のためにつながる仕事ができることが一番の魅力です。本庄市を素敵な街にしたいという思いをみなさんと共有しながら、一緒に働ける日を楽しみにしています。

◆ 飯島 麻衣 主事

児玉総合支所
市民福祉課
市民税務係

平成24年度採用
一般事務

経歴

H24.4 子育て支援課
H28.4 現所属

これからの介護予防のため 地域団体とつながり高齢者を支援する

Q 私の所属はこんなところ

A 介護保険課では、介護保険サービスを受けるために必要な申請、介護認定に関することや、要介護（支援）状態になることを予防するとともに、要介護（支援）状態になった場合でも、地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行っています。

私は、高齢者包括支援係に所属しており、これから介護予防活動を始める団体のサポートや既に活動をしている団体のフォローアップなどを担当しています。

Q 印象に残っていること

A 採用後に初めて配属された行政管理課では、条例の「用字用語の整理」という作業を行いました。

これは、本庄市の全ての例規の形式的な部分を整えるというものです。本庄市では、初めての試みであり、他市の担当者にも話を聞きながら作業を進めていきましたが、例規の数が膨大で判断に迷うことも多く、困難な作業でした。しかし、上司や先輩職員からアドバイスをもらいながら、着実に作業を進めていくことで、何とかやり遂げることができ、自信につながりました。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は、デスクワークからフィールドワークまで多岐にわたり、さまざまな経験を積むことができます。その中で、あなたがこれまで培ってきた知識や経験を活かせる場面がきっとあると思います。

本庄市役所には、「本庄市をもっと良くしたい」と考えている職員が多くいます。あなたも私たちと一緒に本庄市をもっと良くしていきませんか？

◆ 菊池 大 主任

保健部

介護保険課

高齢者包括支援係

平成25年度採用
一般事務

経歴

H25.4 行政管理課

H29.4 介護保険課

健康づくりの窓口 市民とつながる身近な相談者

Q 私の所属はこんなところ

A 健康推進課は、本庄市保健センター内で、市民の方の健康づくりの窓口として、母子保健業務や成人保健業務などを行っています。

私は管理栄養士として、乳幼児健診時の栄養指導や生活習慣改善のための特定保健指導、その他各種教室での講話などを担当しています。その中で、いかにして市民の方の相談に寄り添った対応ができるかを日々模索しています。

Q 印象に残っていること

A 入庁して間もないころは、質問されたことに対して、必要なことを伝えなくてはならないという思いが強く、「伝える」方に重点が偏っていました。しかし、仕事をしていく中で、相手が何を求めているのかを「聴く」ことも大切だと感じるようになりました。このように「聴く」ことを大切に仕事をしたところ、感謝の言葉や、「また相談します」などの嬉しい言葉をもらう機会も増えました。相談者である市民の方の力になれた時が、仕事で一番やりがいを感じられる瞬間です。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は多岐にわたるものですが、人と接することの多い職場です。栄養士も市民の方と接する仕事のため、思いやりの気持ちを持つことが大切ですが、それだけでなく、より身近なアドバイスをするためにも知識の習得なども大切です。大変なこともあるかもしれませんが、やりがいのある仕事です。みなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

◆ 栗田 有理 主任

保健部

健康推進課

成人保健係

平成22年度採用
栄養士

経歴

H22.4 現所属

市民に永く親しまれる 未来につながる施設を造り上げる

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属する営繕住宅課営繕係では、市有建築物における工事の設計・監理を行っています。具体的には、施設の建替えから内外装改修、照明や空調機改修まで、建物に関係する工事は大小問わずすべてにかかわります。建物や設備には寿命が付き物ですが、施設長寿命化の目標を掲げ、資機材選定や施工中の品質管理等を行い、最大限に活用できる施設を造り上げています。日々技術が進歩している中で、最良の方法を導きだすことは容易なことではありませんが、永く市民の方に安全かつ安心して利用していただける施設を提供できる、貴重でとてもやりがいのある仕事です。

Q 印象に残っていること

A 本庄市への入庁前は、建設会社で施工管理を行っていましたが、入庁後は、工事の計画から発注及び監理を行い、違う形で建物造りへ携わっています。官民双方の苦勞を知ることができ、大変貴重な経験ができた実感があります。市役所の業務は、公費を使用するため、慎重かつ丁寧で迅速な対応が要求されます。最少の経費で最大の効果を挙げるため、日々奮闘しています。直近では、120年前に建設された国登録有形文化財である旧本庄商業銀行煉瓦倉庫改修のため、3年間打合せと調整を重ねました。苦勞の末に建設当時とほぼ変わらぬ姿で完成したときは、達成感とやりがいを感じました。

Q 受験生のみなさんへ

A 建築職であっても、その分野は多岐にわたるため、工事の設計や監理、審査等のさまざまな分野を経験することができ、それぞれで活躍するチャンスがあります。また、周囲の環境もそれを後押ししてくれる上司や先輩ばかりです。共に自身を成長させ、より良い本庄市を築きあげませんか？みなさんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしています。

◆ 下山 裕輔 技師

都市整備部
営繕住宅課
営繕係

平成26年度採用
技師

経歴
H26.4 現所属

成長と喜びを共有し 子どもたちの笑顔未来へつなぐ

Q 私の所属はこんなところ

A 私は保育士として、今年度は3歳児クラスの担任をしています。メインの仕事は日々の子どもの保育ですが、日誌や書類の作成、製作物の準備、年間のさまざまな行事の準備など多岐にわたります。毎日元気いっぱいの子もたちと、季節の歌をうたったり、散歩や戸外遊びなどで一緒に体を動かして過ごしています。子どもたちが心身ともに成長することができ、日々が充実するような毎日の保育を心掛けています。

Q 印象に残っていること

A 保育士の仕事は、子どもたちの成長を間近で感じられることが喜びであり、やりがいでもあります。運動会や発表会は、特に子どもたちの成長が感じられます。今までできなかったこと、苦手だったことに一生懸命取り組み、できるようになった時に見せてくれる子どもの表情や自信に輝いている表情を見たときは、自分の事のように嬉しくなります。

保育士は、日々の仕事の中で、喜びや感動を子どもたちと共有できる素敵な仕事です。

Q 受験生のみなさんへ

A 本庄市では、子ども・子育て支援の取り組みに力を入れています。近年、保護者の方の働き方も多様化し、首都圏だけでなく本庄市の保育所も、長時間保育の受入を行うなど、さまざまな状況に対応できるよう変化しています。「本庄市の保育士になってやりたいこと」を具体的にイメージして、諦めずに夢を追いかけて下さい。保育士として子どもたちの成長を支えると共に、自分自身も成長しませんか？

◆ 濱野 愛子 保育士

福祉部
子育て支援課
いずみ保育所

平成27年度採用
保育士

経歴
H27.4 現所属



◇職員に対する各種制度

◆子育て支援制度

本庄市では、子どもを育てながら働いている職員に対して、「子育て・介護と仕事の両立支援ガイドブック」（各種休暇の取得方法について記載しているガイドブック）を作成し、育児休業や部分休業などの各種休暇制度の取得の推進を行っています。休暇制度の種類は以下のとおりとなります。

・子育て支援関係休暇一覧

休暇名	目的
健康診査等休暇(女性のみ)	保健指導や健康診査を受けるため
妊娠障害休暇(女性のみ)	つわり等で勤務することが困難なため
通勤緩和休暇(女性のみ)	通勤混雑による母体又は胎児の健康保持のため
産前休暇(女性のみ)	母体及び胎児保護を目的に出産予定日から前6週間
産後休暇(女性のみ)	母体及び胎児保護を目的に出産後8週間
育児参加休暇(男性のみ)	男性職員が子を養育するため
出産補助休暇(男性のみ)	配偶者の入院の付き添いや出産の立会いのため
育児時間休業	授乳や保育園等の送迎のため
育児休業	子(3歳まで)の養育のため
部分休業	託児の態様や通勤の状況に合わせて勤務をするため
子の看護休暇	子の疾病等の看護のため

◆福利厚生制度

埼玉県市町村職員共済組合

- ・健康保険事業…組合員とその被扶養者の公務外の病気、負傷、出産、死亡などに対して必要な給付を行っています。
- ・年金事業…組合員が退職や病気になったとき、また不幸にして死亡したときに、年金などの給付を行い、老後の生活や残された家族の生活を保障します。
- ・福祉事業…健康保持を目的として、がん検診やインフルエンザ予防接種の助成、福祉施設等の利用補助を行っています。

公務災害補償

地方公務員災害補償制度は、地方公務員等が、公務上の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）又は通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償するものです。

職員定期健康診断

本庄市では、職員の健康を管理するため、年1回の健康診断（血圧、視力、聴力、胸部X線、血液検査、検尿、心電図等）を行っています。

◇過去の試験実施状況

平成28年度				
職種	区分	受験者数	最終合格者数	倍率
一般事務	大学卒	229	16	14.3
	短大卒	21	4	5.3
	高校卒	25	2	12.5
保健師		2	2	1.0

平成27年度				
職種	区分	受験者数	最終合格者数	倍率
一般事務	大学卒	79	12	6.6
	短大卒	3	0	—
	高校卒	7	0	—
技術(土木)	大学卒	6	2	3.0
技術(建築)	大学卒	5	3	1.7
保育士		13	2	6.5
保健師		15	5	3.0

◇今年の試験スケジュール

- 【受験案内配付期間】 平成29年7月3日（月）～8月11日（金・祝）
- 【受付期間】 平成29年8月9日（水）～11日（金・祝）
午前9時～午後5時（ただし、11日は正午まで）
- 【第1次試験日】 平成29年9月17日（日）
- 【第2次試験日】 平成29年10月中旬
- 【第3次試験日】 平成29年11月下旬

※詳細は、別紙「平成29年度(第2回)本庄市職員採用試験受験案内」をご覧ください。

◇問合せ先



本庄市役所 総務部 行政管理課 職員係
〒367-8501 本庄市本庄 3-5-3 Tel.0495-25-1160
URL <http://www.city.honjo.lg.jp/>

